

# 週刊 タバコの正体

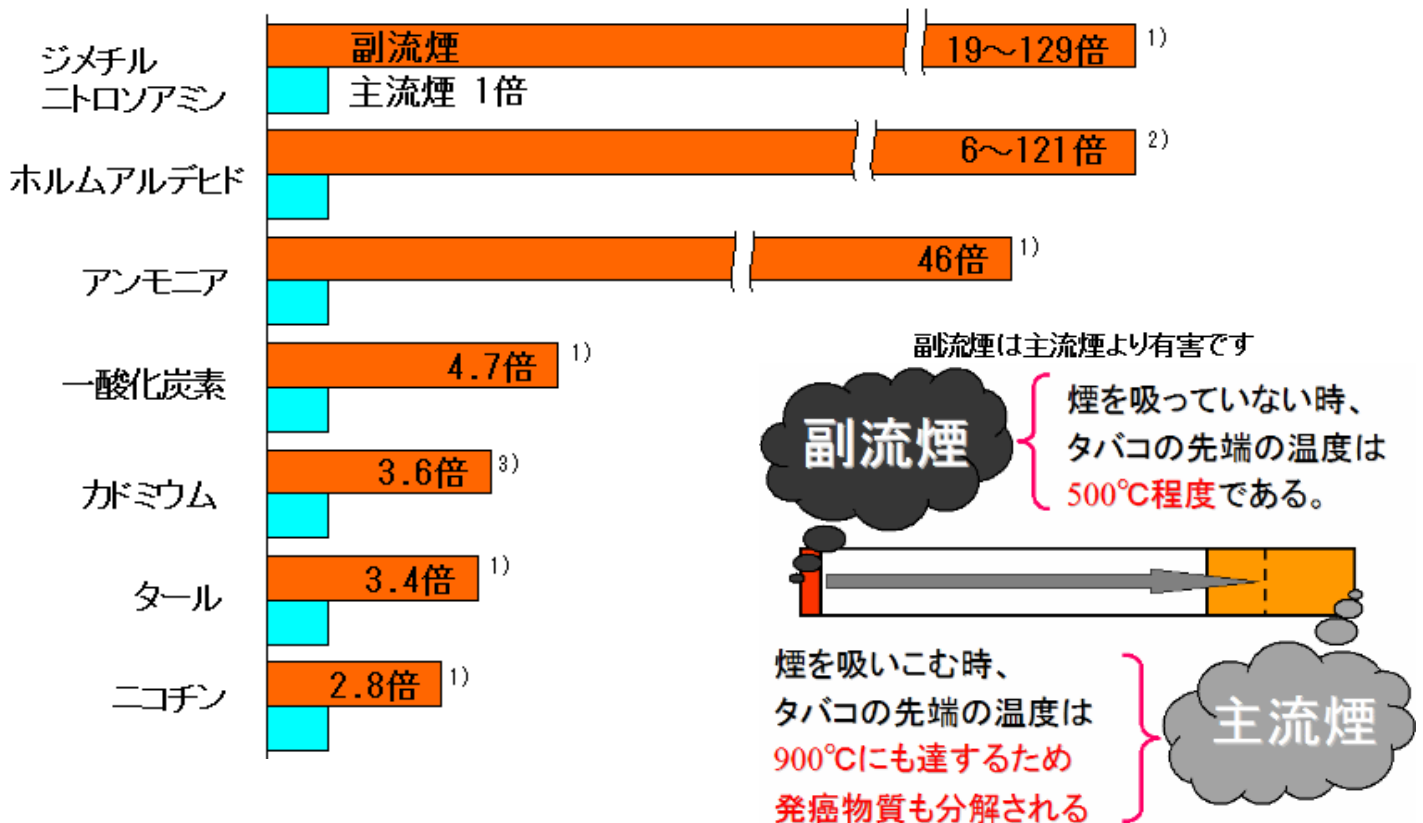
タバコの煙には様々な有害物質が含まれています。その煙を吸い込むのはタバコを手に行っている喫煙者本人だけではありません。煙は空気の流れに乗ってあたり一面に漂うので、火のついたタバコの周辺にいる人は、タバコの有害物質を吸い込んでしまいます。これが「受動喫煙」と呼ばれる“望まない喫煙”です。

この受動喫煙は予想以上に危険な事を知っていますか。火のついたタバコからは、喫煙者が吸い込んでいない時でも常に煙が出ています。本人が吸い込んだ煙を主流煙、吸い込んでいない時に先端から出る煙を副流煙と呼びますが、下図に示すように副流煙の方が主流煙の何十倍も有害なのです。勢いよく吸い込む主流煙は高温で燃焼しフィルターを通過するので有害物は少なくなるのに対し、先端から立ち上る副流煙は低温燃焼で有害物質の濃度が高く、しかもフィルターなしで直接空気中を漂います。

こんな危険な煙を公共の場で放置するわけにはいきませんよね。だから人が居るところは禁煙なのは当然です。でも、こんな事情を知らない喫煙者もいるでしょうから、“望まない喫煙”をしないよう気をつけて下さい。

産業デザイン科 奥田 恭久

たばこ煙は副流煙の方が有害



出典: 1) 最新たばこ情報「主流煙と副流煙」、2) 厚生労働省たばこ煙の成分分析について、3) 厚生省編喫煙の生理・薬理:喫煙と健康;48:1992

(一社)日本生活習慣病予防協会HPから